知っておきたいこと・備えておきたいこと

ハザードマップを確認しよう

「いざ」という時に備え、日頃から大雨による浸水や土砂災害が発生する恐れのある場所などを把握しておき、自宅などから避難所までの経路を確認しておきましょう。

土砂災害警戒区域図・洪水浸水想定区域図

（禁無断複製）©2025 ZENRIN CO., LTD.

どこで見ることができますか？

▲ハザードマップ

ハザードマップは市のホームページに掲載しているほか、各区役所総務企画課・出張所、市民センターなどに閲覧用のマップを設置しています。

情報収集手段を確認しよう

普段使いをしているアプリなどから、「いざ」という時にいち早く情報を入手できるようにしておきましょう。

▲市防災サイト「防災情報北九州」

北九州市 防災

市が防災や危機管理情報を発信している公式X（通称「防災X」）では、災害が発生した場合には、随時防災情報を投稿します。
ぜひ、フォローしてください！

▲防災Xはコチラから

備蓄品の準備をしよう

まずは3日間の備蓄を！

災害復旧までの数日間（最低3日）を過ごすための備蓄品をそろえましょう。

▲詳細はコチラから

燃料
カセットコンロ・カセットボンベなど

水
3リットル/日×3日（500ミリリットル18本）

食料
缶詰・レトルト食品・栄養補助食品・お菓子・スープ など

その他
懐中電灯・乾電池・モバイルバッテリー・食品用ラップ・携帯トイレ・トイレットペーパー・毛布・寝袋・洗面道具 など

非常時持ち出し品は定期的に点検を！

「いざ」という時に支障がないように、食品類の賞味期限や持ち出し用品に不備がないかを、定期的に点検しましょう。

使いながら備蓄する「ローリングストック法」

缶詰やインスタント食品など、普段利用している食品を多めに購入しておいて、使用した分だけを小まめに買い足すことで、一定量を備蓄する方法です。

どう行動するか決めておこう

1 在宅避難（自宅にとどまる）

下記の「3つの条件」を確認してください。

①家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
②浸水深よりも居室は高い
③水が引くまでの間の水・食料などの備えが十分にある

2 安全な場所にある親戚・知人宅へ避難
災害時に避難することを相談しておきましょう。

3 市の避難所へ避難
自分で用意するものは事前に調べておきましょう。

4 安全な場所にあるホテル・旅館へ避難
事前に予約・確認しましょう。

災害が発生したら避難する時に気を付けるポイント

動きやすく、安全な服装で

ヘルメットで頭を保護し、靴は運動靴にしましょう。裸足・長靴は厳禁です。

川や用水路に近づかない

降雨が続き不安に思っても、川や用水路、田畑の様子は見に行かないようにしましょう。

足元に注意

道路が冠水すると足元が見えにくくなり、側溝やマンホールに気付きにくくなります。長い棒などをつえ代わりにするなど、十分に注意して歩きましょう。

この特集に関するお問い合わせ 危機管理室危機管理課☎582・2110